



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信

冬

平成20年

2008年1月

会報 第41号



設立10周年式典にて

左から知事、星ホーム長、福田理事長

目次

巻頭 皆様のご協力、ご支援を

春夏秋冬「星の家」 N0.6

事務局報告

10周年記念式典報告

星の家まつり報告



新年明けましておめでとうございます。本年もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今号は、新理事で栃木県更生保護女性連盟会長の眞田富美子さんに巻頭を寄稿していただきました。

巻頭 皆様のご協力、ご支援を

理事 眞田 富美子

平成20年が始まりました。明けましておめでとうございます。

児童福祉の向上に情熱を注いでいる前伊達理事長のもとで多くの賛同者と共にスタートした「青少年の自立を支える会」が、昨年10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

児童養護施設を退所して就職、社会に出て自立をしたものの、頼るべき家庭のない子ども達にとって、羽を休められる実家のような居場所が星さんの家でした。家庭環境に恵まれないままに育った子どもが、社会に適応するためのアフター施設が必要だったのです。



当時、自立援助ホームが児童自立生活援助事業として法制化され、第2種社会福祉事業として位置づけされたのです。これを契機に、自立援助ホームの運営補助について県の財政当局と交渉したことが思い出されます。外野の応援でしたが、この度、理事として運営に携わることになりましたので、どうぞご指導下さいますようお願い申し上げます。

ここ数年、社会が大きく変動し少年非行の増加、家庭や学校の養育、教育機能の低下は、児童養護施設入所にも関係しているようです。親の離婚等により家庭の崩壊、育児放棄や子どもへの虐待など、家

庭の養育機能が失われて入所してくるケースが増えているのです。そうした影響は児童養護施設退所後、少年院や鑑別所、病院等を経た子どもの受皿になっているのも「星の家」です。入所する青少年が情緒に複雑な問題を抱えているので、自立の支援を指導する星さんをはじめスタッフの労苦は並々ならぬものと察し申し上げ、感謝するばかりです。また、80名を超えた利用者のフォローも大事な事業になっているのです。

一方では、民間施設の大方の悩みである施設の運営費確保があります。「青少年の自立を支える会」は会員の会費と寄附、その他の事業で賄っているのです。「星の家」の利用者が自立していけるよう援助するためには、皆様のご協力ご支援が必要でありますのでよろしくお願い申し上げます。

私は現在、更生保護女性会員ボランティアに携わっております。更女会は、女性の立場から犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に向けて活動している全国組織のボランティア団体で、会員数は全国20万を超えます。

宇都宮更生保護女性会は昭和30年7月に設立され、現在会員400名が力を合わせ、半世紀にわたる活動をしています。更生保護の心を広め、施設への物心両面の援助、子育て支援活動など、地域に根を

下ろし、地域に寄り添いながら、先輩から受け継いできた「愛と優しさ、お互いに譲り合いながら心豊かに暮せる地域社会の創造」の実践にあります。

「星の家」には、おふくろの味を



届けようと月 2 回の食事づくり、クリスマス訪問、県連盟から愛の募金、星の家街頭募金への参加、星の家まつりの参加を続けています。今後どのようなサポートを望んでいるか、利用者とのコミュニケーションを図ることも大事なことで考えております。

春夏秋冬 星の家 NO.6

明けましておめでとうございます！！年末の寒い時期、体調をくずされませんでしたか？星の家はゆっくりとした雰囲気新年を迎えました。

さて、今回の「春夏秋冬」は昨年10月28日に行われた「星の家まつり」についてお伝えしたいと思います。

【値付け】

今年は値付け会場の関係で決まった曜日に行うことが出来ず、参加者が限られたものの、顔見知りの方が多くかけつけてくださいました。また宇都宮大学の学生ボランティア、星の家入居者、OB、星家の子どもと、若い力が多く参加してくれたことが印象的でした。



値付けの一こま

【まつり前日】

昨年の10月は暖かったせいか、なんと前日は関東に台風直撃！！今年は前日準備として、日通トラックへの荷積みと、会場である明保野体育館でのシート張りを行いました。これをやっておくと当日の朝とっても楽なのですが、まさかの台風となってしまうました。それでも降りしきる雨の中、カッパを着ながら荷積みをしてくださったボランティアさんには頭が下がる思いでした。仕事が休みの星の家入居者も手伝ってくれました。国際医療福祉大学の学生さんも遠いところを手伝いにきてくれて、総勢15名での作業は悪天候のわりにスムーズに進みました。物品を保管して



実行委員会の一こま

いる幕田の家にもワゴン車で3往復し、今年は前日のうちに460個を超える段ボールを体育館に運び込むことができました。

【まつり当日】

前日の天気とは違って変わって朝から晴天！！まつりも10回目となり、ボランティアさん



屋外会場は人、ひと、ひと・・・

も慣れていてテント組み立てやガスコンロの設置もスムーズに行われました。前日準備のおかげもあって、体育館内も式典が始まる頃には各部門の商品陳列を終えて、なんだか“余裕～”な雰囲気が漂っていました。

今年はまつり開催の前に10周年式典が行われました。ワールド・ソウル・コーラスのゴスペルで会場は盛り上がり、バザー開始に向けて会場の気持が高まっていくのが感じられました。

模擬店では国際医療福祉大学のライスカレーとむらおこし応援団による釜焼きピザが初出店となりました。どちらも低価格で美味しく、人気の商品でした。

朝からの晴天のおかげで、お客さんの入りも良く、人が溢れるおまつりとなりました。



ピザを大谷石作りの釜で焼くので汗だくに

【売り上げ】

今年は大きな目玉商品がなかったわりに、148万円という前回と大差ない売り上げ、そして売れ残

りが少ないという結果でした。これは各部門の責任者の方を中心に、売り子の方がなるべく値下げをしないよ



屋内バザー会場は、押すな、押すな・・・

う、かつ売れ残りを少なくしようと頑張ってくださいました。これから残った荷物の整理があるスタッフにとって、これはとてもありがたいことです。

【バザー物品】

今年も沢山の方から物品を寄付していただきました。昨年の「星の家まつりだより」を読んだ方はご存知と思いますが、今年も「栃木宮子さん」から物品とお手紙をいただきました。文面からは「まつりだより」を読まれていないようでしたが、身元を明かさずにこうして毎年物品を送ってくださる方がいることは、物品整理に追われるスタッフにとってとても心温まることです。栃木宮子さんだけでなく、



浅香宅飯倉庫はダンボールがぎっしり！ 荷物が届くことでまつりが近づいていると感じました。

毎年のように星の家に物品を直接持ってきてくださる方、お顔は分かりませんがまつりの時期になると宅急便を送ってくださる

まつり当日は225名ものボランティアさんがかけつけてくださいました。本当に多くの方の協力があって成功したおまつりです。

しかし当日が近づくとつれてあまりに忙しく、星の家中心になれていないな～と思うこともありました。でもそんな風に準備に没頭できたのは、ホーム長が作る美味しいご飯と、何より入居者の協力があったからだと思います。

ある時、ボランティアさんが物品を持って星の家にきてくださいました。たまたま入居者しかいなかったのですが、私たちがいつもお礼状用に連絡先を聞いているのを見ていて、きちんとメモしておいてくれたことがありました。忙しいときに、家事を頼むと嫌な顔せずに手伝ってくれました。きっとこち

らが忙しさを手が回らないのを、分かってくれているんだと思います。重い物品を車に積むときは男の子に手伝ってもらいました。値付けを手伝ってくれた入居者・OBもいます。自分の仕事が休みなのに、肉体労働をしてくれました。

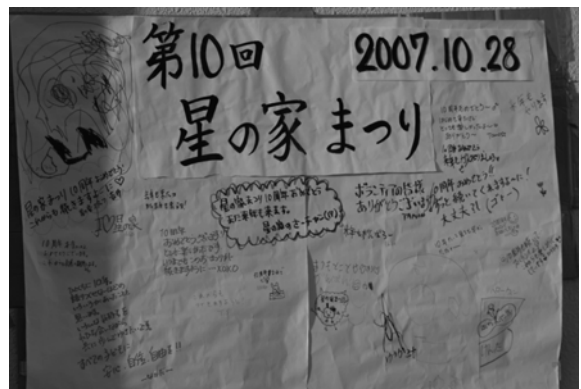
まつり当日も会場に来てテントの組み立てをしてくれたり、マイクを使ってアナウンス・宣伝をしてくれたり、当日は忙しくて見る事が出来なかったそんな姿を後から写真で見つけ、うれしくなりました。

そして何よりも気持ちが軽かったのは、まつりの準備で忙しい時期に、入居者たちがいつもと変わらない生活をして、いつも通りに仕事に行ってくれていたことです。スタッフのテンションにつられることなく、いつも通りの落ち着いた生活をしてくれたおかげで、準備に集中でき、本当に助かりました。



こうして第10回星の家まつりは大成功に終わりました。準備から当日まで今年もたくさんの方に支えられました。ありがとうございました！！

さて、2008年に入り星の家入居者にも多少変化がありました。12月には1年近く入居していた17歳の女の子が、近くのアパートに出ました。いきなりの一人暮らしで、ウキウキに少しの不安がまざったような気持ちだと思います。それでも職場では、パートから正社員になり頑張っています。そしてそれと入れ替わるように、中学生の女の子を一時保護しました。二人の男の子たちも寒い中を頑張っています。そんな彼らと星の家、そして支えてくださる皆様にとって、今年も良い年でありますように...！！今年もどうぞよろしくお願ひ致します。(Y・Y)



寄せ書き 気が付きませんでしたか？

街

街頭募金の報告（第6回）

昨年11月18日曜日の午後、第6回目を迎えた街頭募金を宇都宮オリオン通りの2箇所で行いました。総勢10名（内子ども2名）の少数精鋭？でボランティアも年々減少をたどっております。

毎年感じるのですが、回を重ねるごとにオリオン通りの人通りも少なく感じ、あまり手ごたえはありませんでした。街頭募金の在り方を見直す時期に来たと感じました。



オリオン通りにて

それでも34,466円の募金がありました。皆様に感謝申し上げます。

設

立10周年式典に栃木県知事が出席！

平成19年7月には本会が、9月には自立援助ホーム「星の家」が、それぞれ設立10周年を迎えました。これを記念しての式典を、10月28日曜日10時から、第10回星の家まつりの開催に先立ち、模擬店が立ち並ぶ屋外会場で執り行いました。式典には、来賓として福田富一栃木県知事、宇都宮市長（市長代理岡地保健福祉部長）並びに栃木県中央児童相談所長をお迎えし、200名を超えるボランティアが参加しました。

オープニングセレモニーは、ワールド・ソウル・コーラス宇都宮によるソウル&ゴスペルのコーラスで始まりました。

そして福田理事長による主催者挨拶では、本会がここまでこれたのは皆様のご支援の賜物



オープニングセレモニー

とお礼を述べられ、親や家庭からの支援が得られない子どもたちが存在する限り、この子どもたちの幸せのために厳しい財政状況ではあるが、第二の「星の家」の実現に向けて今後取り組んでいきたいと述べられました。

次の来賓挨拶で福田富一栃木県知事は、子どもたちは“未来を作る社会の宝”であり地域社会と一緒に引き続き支援していくと述べられました。



福田富一知事の来賓挨拶

また、本会活動の充実・発展などに貢献された方々に対して感謝の意を表す感謝状を贈呈いたしました。



感謝状贈呈式の一コマ

贈呈者は、27名（ご辞退5名を除く）で、内8名の方々が出席され伊達名誉理事長が皆様を代表して福田理事長から感謝状

を受け取られました。

最後に伊達名誉理事長が挨拶され、曾根事務局長の閉会の言葉で式典は無事終了しました。



伊達名誉理事長挨拶 会場風景

（感謝状贈呈者） 敬称略 順位不同

伊達悦子 栃木少年友の会 日本労働組合総連合会栃木県連合会
 栃木県更生保護女性連盟 美寿々すみ子 本間一匡 蓼沼初枝
 宇都宮中央ライオンズクラブ 以上出席者
 金崎英美子 宇都宮北ライオンズクラブ (株)日本栄養給食協会 増子孝徳
 茂呂洋子 野中ハツエ あけの星会 宇都宮ロータリークラブ
 宇都宮陽東ロータリークラブ (株)ミヤプロ 広田忠造 若林平吉
 川上寿一 早川久子 池谷正宏 田鹿馨 徳原和子 柏木ミチ子
 北川良江

第

10回星の家まつりの報告と 皆様にお礼

去る10月28日(日曜日)、宇都宮市明保野体育館および隣接駐車場を会場に、設立10周年記念式典終了後に開催した第10回目を迎えた星の家まつりは、台風一過の晴天に恵まれ、過去最大の入出で盛り上がり無事に終了しました。

結果、売上は順調で品物の割には1,482千円(詳細は後掲の決算書参照)もの高収益を上げることができました。ここにご支援ご協力をいただきました皆様に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、まつりの詳細については前述の春夏秋冬「星の家」で述べておりますので、ここでは実行委員長が総括とお礼を申し上げます。

今回は、毎年参加のDV支援の認定特定非営利活動法人ウイメンズハウスとちぎに加えて、隣接の宇都宮市男女参画推進センターでフェスティバルが開かれ、その相乗効果もあってか、今までにない大勢の方が会場を訪れ活気のあるおまつりになりました。



まつり風景

会場確保は、宇都宮市男女参画推進センターからの同時開催申入れにより、宇都宮市が会場を前日の午後から確保していただきました。その結果、前日に会場のシート敷きなどの事前準備ができたことは、まつり当日の会場準備の軽減に大きな効果がありました。

バザー物品置き場は、一条町の浅香先生宅に毎回ご好意に甘んじ仮置き。また、会員の紹介で無償提供の幕田町の倉庫(住宅)での値付けもできました。

バザー物品については、毎年協力していただいている東京電力労組に加え、自治労県本部、富士重工業労組、全日本タバコ産業労組、国交総連栃木、ヤオハン労組などの労働組合の協力を得ることができ先細りのバザー物品集めに朗報でした。また、毎年協力の宇都宮東や宇都宮陽東を始めとした各ロータリークラブ、ソロプチミストなどの協力も貢献大で

した! 物品提供者数は158名(団体含む)を超えるご支援をいただきました。

事前PRでは、マスコミ各社に加えて、とちぎコープが商品宅配の案内綴りにまつりチラシをコープの印刷負担(1万部以上)で入れていただいたこと。また、会場周辺の富士見地区自治会連合が各家庭にまつりチラシを回覧していただいたことなどで大勢の市民の方に広報できました。

毎年手配に頭を悩ますテントや椅子テーブルはイベントワーク(有)が、プロパンガスは(株)ミヤプロ、ダンボール処理は(有)マジック・ワークが無償協力! 準備の負担と費用の大幅軽減につながりました。

ボランティアでは、国際医療福祉大学(51名)や宇都宮大学などの学生ボランティア、ワールド・ソウル・コーラス宇都宮のメンバーに加えて富士重工業労組からも初参加していただきました。ボランティア数は225名を超え、回を重ねるごとに増えてきていることはうれしい限りです。



アフリカ音楽のパフォーマンスも!

模擬店では、村おこし応援団による石焼ピザと国際医療福祉大学によるライスカレーが初参加、共に好評でした。

大きな反省点としては、壊れた休憩用折りたたみ椅子が使われていたためお子様や高齢者が座った際に転倒、怪我をされましたが、その後様子を伺ったところ大事無く過ごされているとの返事を頂き安堵。何よりも安全が最優先!

そして星の家の人びとは、元利用者が自主的にフリーマーケット(個人で集めた物)を会場内で開いて売上寄付の恩返し!! また、強制はしていませんが星の家入居者が受付などを手伝い(あの本部驚嫌ですよ!)。星の家の入居者は休日も仕事のため、まつり当日の手伝いが思うようにできません。仕事優先ですのでご理解願います!

このように回を重ねるごとに規模も大きくなり、準備の量も正比例。当然星の家のスタッフも準備に

追われっぱなし！まつりが近づくにつれて、星の家のスタッフはオーバーワーク、テンションもアップ。前日の深夜まで細かな事前準備を星の家のスタッフが行っておりました。

皆さんに叱られるかもしれませんが、スタッフ(当然私です！)が楽になるようにいつも思案しております。

おかげさまでこのように大勢の方々のご支援、ご協力があってここまでたどり着くことが出来ました。至らぬ点が多々あったと思いますが、皆様にお詫びいたすとともに深く感謝申し上げます。

どうぞ今後とも“未来を作る社会の宝”である子どもたちのために、引き続き本会活動を支援してくださいませようよろしくお願い申し上げます。

まつり当日ボランティア集合記念写真 だれだか判りますか!?



第11回青少年の自立を支える会コンサート 「倉沢大樹ジョイントコンサート」のご案内

日 時 平成20年3月8日(土曜日)
開演午後5時 終演予定午後7時30分

会 場 宇都宮市文化会館 大ホール

入場料 1,000円(全席自由)
4歳児以上有料(無料託児コーナーあり)



出演者

第一部 JAZZセッション 倉沢大樹ピアノトリオ+

野中英士(ベース) 高橋幹夫(ドラム)ほか

*あまりジャズになじみの薄い方々に、耳にした事のあるジャズなどを聴いて親しんでいただく企画です。

メンバーの野中英士さんや高橋幹夫さんは、日本はもとより海外でも活躍しておられる栃木が誇るミュージシャンです。是非この機会にお聴きください!

第二部 倉沢大樹エレクトーン

浅香薫子(声楽家) 島田絵里(フルート)

*楽しい企画がありそうですよ!?

コンサートチケットは、同封の郵便振込みで購入できます。

第10回星の家まつり決算書

項目	収入	支出	純利益 (収入-支出)	備考	前年度収益	前年度との比較	前年度比
合計	1,762,504	280,522	1,481,982		1,557,793	-75,811	-5%
バザー計	1,265,853	0	1,265,853		1,296,082	-30,229	-2%
オークション	226,500		226,500		309,150	-82,650	-27%
野菜	12,100		12,100		35,190	-23,090	-66%
食器	153,251		153,251		153,546	-295	0%
特売品	36,775		36,775	値付け時売上代200円含む	49,773	-12,998	-26%
日用品	373,430		373,430	値付け時売上代1,890円含む	343,230	30,200	9%
おもちゃ・くじ引き	43,200		43,200	値付け時売上代500円含む	24,201	18,999	79%
食品・雑貨・手作り品	173,355		173,355	値付け時売上代2600円含む	200,301	-26,946	-13%
衣類・くつ靴	209,152		209,152	値付け時売上代1200円含む	169,241	39,911	24%
本・CD	30,740		30,740		11,450	19,290	168%
フリーマーケット(雑貨)	7,350		7,350	井上あずさ、川端さん個人出店	0	7,350	
模擬店計	335,920	152,103	183,817		182,012	1,805	1%
焼きそば	68,250	41,165	27,085	273食+ボラ券215枚	38,610	-11,525	-30%
飲み物	29,900	29,864	36	299個+ボラ券228枚	776	-740	-95%
和菓子	65,200	48,000	17,200		14,700	2,500	17%
ちたけうどん	72,600	27,210	45,390	242食 @300 CSグループ	33,636	11,754	35%
ライスカレー	24,280	5,864	18,416	国際医療福祉大学	0	18,416	
鉢花売上	10,190		10,190	希望の家	6,619	3,571	54%
ピザ	60,000	収益寄付	60,000	村おこし応援団		60,000	
鉢花売上(月下美人)	5,500		5,500	一人語りへの会 岩本先生		5,500	
もちつき	未出店		0	わたちの会	77,671	-77,671	-100%
ミルク	未出店		0	ミルクの国基金	10,000	-10,000	-100%
アトラクション等計	8,900		8,900		13,765	-4,865	-35%
占い	8,900	収益寄付	8,900	まさこさん	6,000	2,900	48%
人形劇	未出店		0	くくつ	7,765	-7,765	-100%
募金・寄付	151,831		151,831		205,296	-53,465	-26%
寄付金・祝い金・募金	143,491		143,491	18名	180,456	-36,965	-20%
寄付金券販売	8,340		8,340	テレホンカードほか	24,840	-16,500	
本部経費		128,419	-128,419		-139,362	10,943	-8%
会場借用費		6,610		体育館使用料は市男女参画負担	35,600		
共通消耗雑費		91,809			73,312		
輸送費		30,000		日本通運 4t車1台	30,450		

寄

付・会費納入者

敬称略・順位不同

平成19年10月～19年12月まで

(個人情報保護の観点から、ウェブ版では個人名は割愛させていただきます)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりありがとうございました。

ところで、昨年の日本人の平均寿命は、女性85歳、男性78歳。さて、問い：この「平均寿命」つ



て何? 答え:赤ちゃん(0歳児)が何歳まで生きられるかで、すなわち平均寿命=0才児の平均余命だって。で、私もとうとう年男の還暦、平均余命は22年だって!一年経つのが早く感じるお年頃で～す。

さて昨年は、設立10周年を迎えて式典には知事が出席。そしてマスコミでは、7月に「星の家」がTV放映、下野新聞では「星の家の灯」が連載されるなど私たちの活動の成果が認められた年でした。で、星の家を巣立った利用者のその後などを記事にした下野新聞掲載「星の家の灯」を同封いたしましたので是非ご覧ください。

本年は、本会の飛躍の年のスタートにしたいと思っておりますので、皆様のご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。(多門)

会費納入及びご寄付の郵便振替先について

加入者名: 青少年の自立を支える会 口座番号: 00140-3-366972 *通信欄に会員種別等及び金額をご記入ください。
「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会
発行日/ 2008年1月15日
発行責任者/ 福田雅章
編集責任者/ 曾根俊彦

所在地/ 321-0963 栃木県宇都宮市南大通り4-2-18
電話/ 028-651-0161 FAX/ 028-651-0162
IP 電話/ 050-3437-2401
Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp
HP/ <http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/>